

[illegible]

③ 防水 改修工事	① 施工	① とい	② ③ ④ （ 図示 ） （ 3.8.2 ） 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆のもの ・ （ ） 鋼管巻との防露巻きは「改修標仕」表3.8.5による。 （ 3.8.3 ）	② 外壁改修工事 モルタル塗仕上げ	④ 欠損部改修方法	① 施工 部材の種類 ・ 250形 ・ 300形 ・ 350形 ・ （ ） （ 3.9.2 ） 表面処理 ※ A－1 種又はB－1 種 ・ （ ） 構造遮断体システム ※ 無 ・ 有 次表のとおりとする。 （ 1 ） 延べ面積が500㎡以上の建築物 防水施工業者は、建設業法第3条の許可（防水工事）を受けている者で、（ 社 ）福岡県防水工事協会会員又は、これと同等以上の高度な防水技術を要するものと監督員が承認する場合 （ 2 ） 特殊な用途等に係る建築物で、 高防水防水技術を要するものと監督員が承認する場合 （ 3 ） （ 1 ） 、 （ 2 ） 以外の場合 防水施工工事業者は、建設業法第3条の許可（防水工事）を受けている者から選ぶこと。
		⑩ 保証年限	防水保証年限は、引渡の日から次表のとおりとする。 保証については防水工事業者が、（ 一社 ）福岡県防水工事協会会員の場合は、請負業者、防水工事業者、（ 一社 ）福岡県防水工事協会の連名保証とする。 その他の場合は、請負業者、防水工事業者、製造メーカーの連名保証とする。			防水保証年限は、引渡の日から次表のとおりとする。 保証については防水工事業者が、（ 一社 ）福岡県防水工事協会会員の場合は、請負業者、防水工事業者、（ 一社 ）福岡県防水工事協会の連名保証とする。 その他の場合は、請負業者、防水工事業者、製造メーカーの連名保証とする。
		⑪ その他の防水	保証年限（年） 防水の種類 アスファルト防水（A-1、2、3、A1-1、2、3、B-1、2、3、B1-1、2、3、D-1、2、3、4、D1-1、2） 改質アスファルトシート防水（AS-T1、2、3、4、AS-J1、2、AS1-T1、AS1-J1） 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1、2-シート（7）1.5mm及び2.0mm、S-M1、2、3、S1-F1、2、S1-M1、2）、透膜防水（X-1、2） 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1-シート（7）1.2mm）			保証年限（年） 防水の種類 アスファルト防水（A-1、2、3、A1-1、2、3、B-1、2、3、B1-1、2、3、D-1、2、3、4、D1-1、2） 改質アスファルトシート防水（AS-T1、2、3、4、AS-J1、2、AS1-T1、AS1-J1） 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1、2-シート（7）1.5mm及び2.0mm、S-M1、2、3、S1-F1、2、S1-M1、2）、透膜防水（X-1、2） 合成高分子系ルーフィングシート防水（S-F1-シート（7）1.2mm）
			施工箇所 種類・工法 保証年限（年） 備考 金属屋根 ガルバリウム鋼板 ○10			施工箇所 種類・工法 保証年限（年） 備考 金属屋根 ガルバリウム鋼板 ○10
① 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ	④ （ 1 ） 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ	① 施工調査数量	調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。	② 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	④ （ 3 ） 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	① 施工調査数量 調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。
		2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 ・図示 ・（ ） （1.5.3）			2. 調査のための破壊部分の補修 補修方法 ・図示 ・（ ） （1.5.3）
		⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
		① 施工調査数量	調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。			調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。
① 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	④ （ 2 ） 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	① 施工調査数量	調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。	② 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	④ （ 3 ） 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	① 施工調査数量 調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。
		2. 調査のための破壊部分の補修	補修方法 ・図示 ・（ ） （1.5.3）			2. 調査のための破壊部分の補修 補修方法 ・図示 ・（ ） （1.5.3）
		⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿	⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿			⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
		① 施工調査数量	調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。			調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。
① 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	④ （ 3 ） 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	① 施工調査数量	調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。	② 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	④ （ 3 ） 外壁改修工事 タイル張り仕上げ	① 施工調査数量 調査範囲 ※図示 ○（対象区外壁全体） （1.5.2） 調査項目 ※ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 調査方法 ・図示 ※目視及び打診 調査報告書 ※（1）部を監督員に提出する。</

重畳シャッター

機能による種類
・管理用 ・ 防火（外壁用 ・ 屋内用） ・ 防煙
シャッターケース（防火・防煙以外の場合） ・ 設ける ・ 設けない （5.10.2）
開閉機能による種類 （表5.10.1）
※上部電動式（手動併用）電源 ※ V kw以下（過電流保護装置付）
上部手動式
耐風圧強度 （ ）
建内用防火、防煙シャッターの危害防止機構 ※障害物感知装置 ・ シャッター二段降下方式工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

11. 軽量シャッター

開閉機能による種類 （5.11.2～4）（表5.11.1）
※手動式
・上部電動式（手動併用）電源 ※ V kw以下（過電流保護装置付）
耐風圧強度 （ ）
スラットの形状 ※インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
工事範囲 一次測配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次配線は本工事に含む。

12. オパールヘッドドア

セクション材料 ※ステールタイプ ・ アルミニウムタイプ （5.12.2）
ファイバーグラスタイプ
開閉方式 ※バランスタイプ ・ チェーン式 ・ 電動式
収納方式 ※タンデム形 ・ ロケット形 ・ ハイリフト形 ・ ハーチャ形
ガイドレール ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板(SUS304)
耐風圧強度 （ ）

13. ガラス

建具に取り付けるガラス及びガラスブロックは図面指示（建築表）による。（5.13.2）

ガラス留め材 （5.13.2.(b)）(5.13.3)(表5.13.1)

建築の種類	材 種
アルミニウム製	※シーリング材(SR-1) ・ グレージングガスケット
鋼製、ステンレス製	※シーリング材(SR-1)

ただし、防火戸は建築基準法に基づく防火性能を有するものとする。

既存床の撤去並びに下地補修

2. 接着剤

壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。壁紙用の接着剤は、フッ酸ジ-n-Pn-FH及びフッ酸ジ-2-EF-H等を含むない難揮発性の可塑剤を使用している規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）
※F☆☆☆☆ （ ）

3. ビニル床シート張り

材 種	種 類	記号	色柄	厚さ	工法	特殊機能	備 考
ビニル床シート	※発砲層のないもの ・ 発砲層のあるもの	※FS ・ ()	※無地 ・模様	※2.5 ・ ()	※熱溶接 ・ 突付け	・ 帯電防止 ・ 耐動荷重性 ・ 防滑性 ・ 耐薬品性	

4. ビニル床タイル張り

材 種	種 類	形状	厚さ
ビニル床タイル	※コンポジションビニル床タイル(半硬質) ・ コンポジションビニル床タイル(硬質) ・ ホモジェニアスビニル床タイル ・ 帯電防止ビニル床タイル(置敷タイプ) ・ ホモジェニアスビニル床タイル(パネル一体タイプ)	※300角 ・ () ※500角 ・ ()	※2 ・ 3 ・ () ※2 ・ ()

帯電防止ビニル床タイル(置敷タイプ)の接着剤は粘着剥離型とし、製造所の指定する製品とする。

5. ビニル幅木

材質 ※軟質 ・ 硬質 （6.8.2）
厚さ ※2 ・ ()
高さ ※60 ・ 75 ・ 100 ・ ()

6. カーペット敷き

織りじゅうたん （6.9.2）(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)

種別	織り方	パイルの形状	色柄	備考
・ A種	※三絨織り	※カットパイル	※無地	・ 防虫加工品
・ B種	()	・ ループパイル	・ 模様	人体帯電電圧
※ C種	()	()	※ 3kw以下	()

下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)第2種2号(厚8)
タフテッドカーペット （6.9.2）(6.9.3)(表6.9.4)

パイル形状	パイル長	工 法	備 考
・ カットパイル	※5〜7 ()	※全面接着工法	人体帯電電圧
・ マルチレベルループ	※4〜6 ()	・ グリップヤ工程	※ 3kw以下 ()
・ レベルループパイル	※4 ()	()	()
・ カット、ループ併用	()	()	()

タイルカーペット （6.9.2）(6.9.3)(表6.9.4)

種別	パイルの形状	寸法	総厚さ	色柄	電気抵抗
※一種	※ループパイル	※500角	※6 . 5	※無地	※適用しない
・二種	・ カットパイル	()	()	・ 模様	・ 10 Ω以下

7. 合成樹脂塗床

種 別	仕上 げ の 種 類
・ 弾性ウレタン塗り床材	※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗り床材	※薄膜塗し肌仕上げ ・ 厚膜塗し肌仕上げ(※平滑・防滑) ・ 樹脂モルタル仕上げ(※平滑・ 防滑) ・ 防滑仕上げ

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）

8. 防護用塗料塗り

材 質 水性アクリル系樹脂塗料（※標準色） （ ）
仕上種類 コーティング（ローラー刷毛塗り）
塗 布 量 主剤2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m²以上

9. フLOORING張り （5.11.2～7）（表6.11.1～4）

類 別	樹種	工法及び寸法	厚さ・大きさ(mm)	装 装
複合フローリング	※なら	※釘どめ工法	厚さ ※15	※塗装品
複合・ ()	・ A種 ・ B種	・ 幅 ・ 長さ ※C種	幅 ・ 75・90	・ 無塗装品
単相・ ()	()	・ 接着工法	長さ・ 以上	

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）

10. 体育館用フロアー張り

樹 種 ()
接着剤 ・ 酢酸ビニル系エマルション ・ エポキシ樹脂系
表面塗装 ・ ポリウレタン樹脂塗料3回塗り ()
張り付け ・ 下張り板に接着剤で接着し、隠し釘と脳天釘で止める
下張り板 ・ 12mm以上(木製根太) ・ 15mm以上(鋼製根太)
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）
厚さ ・ 幅 ・

① 敷き

※別添施工特記仕様書による （表6.12.1）
○ タタミ表替え 本間 普及品

材 種 別 張 り 方 厚 さ 備 考

材 種	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考
◎ セっこうボード	・ 下地張り ・ 上張り	◎ 突付け ・ 目渡し ・ 継目処理工法	◎ 9.5 ・ 12.5 ・ 15	
◎ 化粧セっこうボード	・ トランシ模様の直張り	※突付け	※9.5	寸法 ※450×910 ・ 910×910
◎ 木目模様の裏桂付	・ 直張り	※目渡し	※9.5	専用経路 下地材付き
・ 無石積ひ肉カルシウム板	・ 打込み	・ 横付け	※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・ ()	
・ 普通木毛むけ板	・ 敷込み			
・ 木質むけ板		・ 目渡し ・ 継目処理	・ 20 ※ 25 ・ 30	
・ 縦板				
・ パネル状の「ド」				
・ 天然木化載合板				・ 福岡県産材

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）
遮音性材料 ※アクリル系シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド （6.13.2）(6.13.3）

材 種	表 面 の 品質	厚 さ	工 法
・ 普通合板	生地のまま又は透明塗料塗りの場合	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	※A種
	※ラウン程度 ()		
	不透明塗料塗りの場合	・ 5.5 ・ 9 ・ 13	・ B種
	※しな度度 ()		
・ 天然木化載合板	()	()	

壁又は天井に使用する場合、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）
パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ）

13. 壁紙張り

壁紙はJIS A692Iにより、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたもの。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ （ ） （6.14.2）

施工箇所	品質	等級	防火性能の種類
		高級品	・ 1級 ・ 2級 ・ ()

素地ごしらえの種類
モルタル及びプラスター面 ・ A種 ※B種
セッコウボード面 ・ A種 ※B種

14. タイル張り

施工業者 ※内装専門業者とする。 （6.16.3）

施工箇所

⑦ 塗装
改修工事

⑧ 下地調整

4. 錆止め塗料塗り

5. 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

6. クリヤラッカー塗り(CL)

7. フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)

8. アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)

⑨ 耐候性塗料塗り(DP)

10. つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)

11. 合成樹脂(EP)

12. 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)

13. ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

14. ラッカーエナメル塗り(LE)

15. オイルステイン塗り(OS)

16. 木材保護塗装塗り

17. 屋内水系塗料塗り

(表7.2.1)～(表7.2.7)

(表7.3.1)～(表7.3.2)

(表7.3.1)～(表7.3.2)

(表7.4.1)～(表7.4.3)

(表7.5.1)

(表7.6.1)～(表7.6.2)

(表7.7.1)

(表7.8.1)

(表7.9.1)～(表7.9.4)

(表7.10.1)

(表7.11.1)

(表7.12.1)

(表7.13.1)

(表7.14.1)

(表7.15.1)

1. 鉄筋の種類

2. 鉄筋の継手

3. 溶接金網

4. 帯筋

5. 壁の配筋

6. 圧接完了後の試験

7. 特殊な鉄筋継ぎ手

8. 割製補強筋

9. コンクリートの強度

10. コンクリートの種類

11. スランブ

12. 普通コンクリートの調合

13. セメントの種類

14. 打放し仕上げの種類

15. モルタル及びグラウト材

16. 鉄骨製作工場

17. 鋼材の種類

18. 高力ボルト

19. 溶接部の検査

20. スタッド溶接後の試験

21. 耐火被覆の種類及び性能

22. スリット

23. あと施工アンカー

材質 ※JIS G 3112 ・ 建築基準法第37条の規定に基づき認定を受けたもの (8.2.1)

(8.3.4)

(8.2.2)

(8.3.7)

(8.3.8)

(8.4.2)(8.4.3)

(8.21.6)(8.22.7)

(8.1.3)

(8.1.3)

(8.1.4)

(8.1.4)

(8.1.4)

(8.1.4)

(8.2.5)

(表8.1.3)(8.2.7)

(8.2.11)

(8.1.5)

(8.2.8)

(8.2.9)

(8.15.11)

(8.16.5)

(8.2.4)

(8.25.2)

(8.2.4)

(8.12.2)

(8.12.5)

施工区分表

工 事 内 容

電気関係

機械関係

開口部

点検口

ガラリ

排気フード

換気扇の取付及びアルミパネル

換気扇

流し台

防油堤

床下水槽のマンホール蓋

屋外配水管

雨水竖樋

身障者用便所すり

はみ込み形洗面器用カウンター(前板共)

ガスボンベ転倒防止用の鎖

電気配管配線

パッケージエアコンの配線

ガス漏れ探知機

電気錠

エレベーター出入口三方枠(金属製)

シャワーユニット(バスユニット)

ガス給湯器リモコン用ケーブル

ガス給湯器電線管及びボックス

畳工事

黒板工事

補装工事

備考

承認覧

工事名称

図面名称

行橋市役所

都市整備部 建築政策課

福岡県行橋市中央一丁目1番1号

T E L : 0 9 3 0 - 2 5 - 1 1 1 1

改修工事特記仕様書(4)

図面番号

A - 0 4

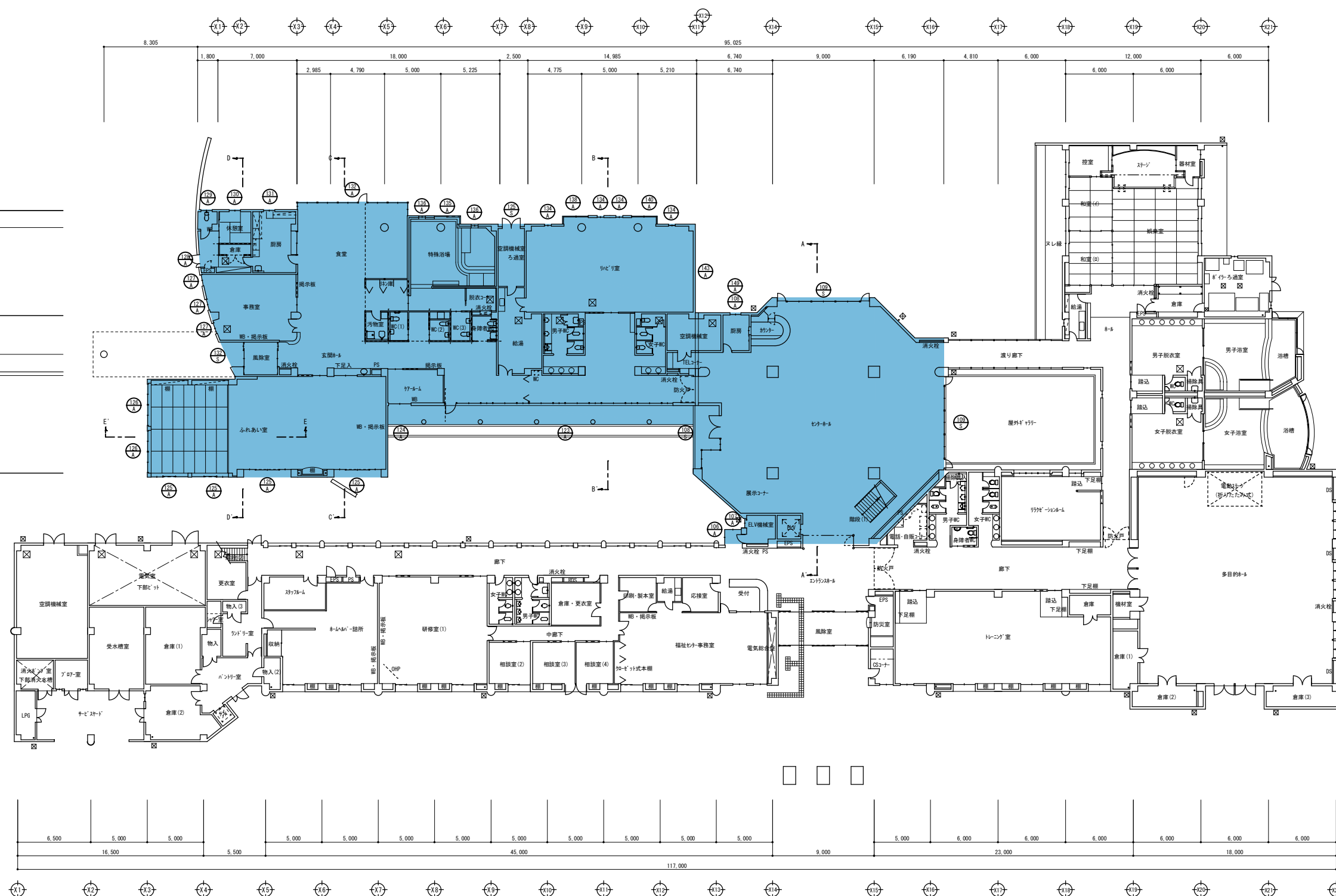


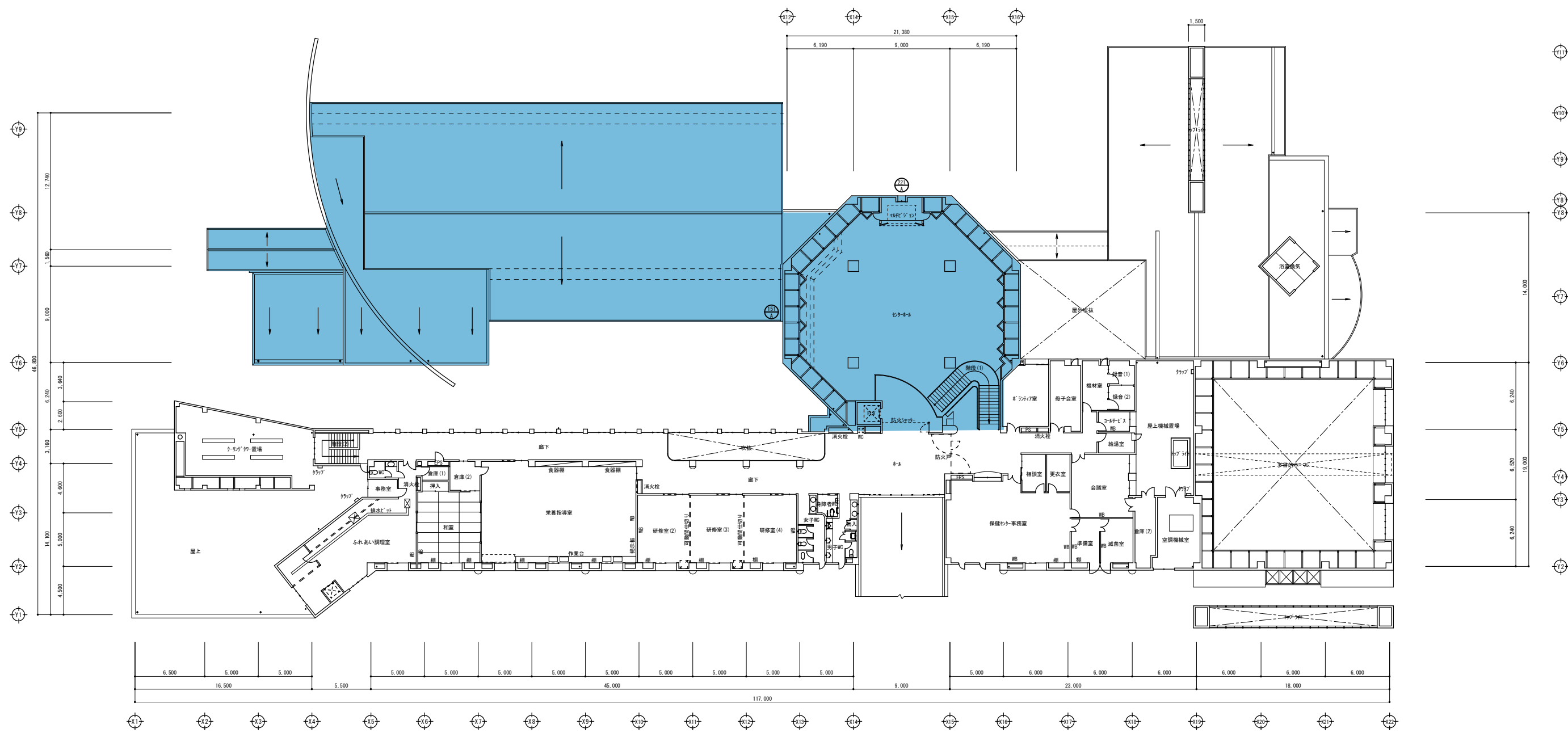
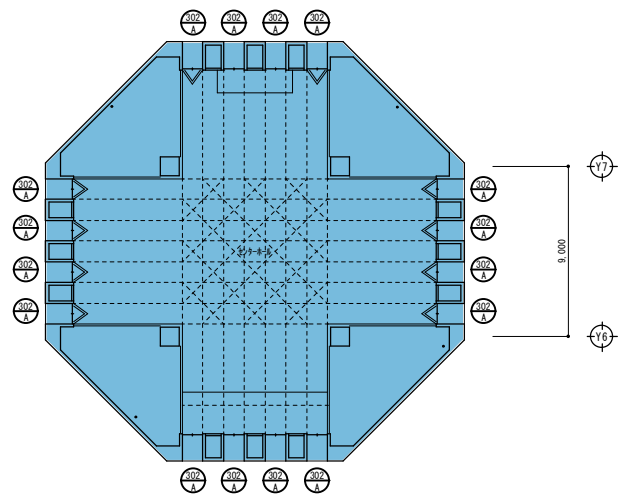
施工位置：行橋市大字中津熊501番地

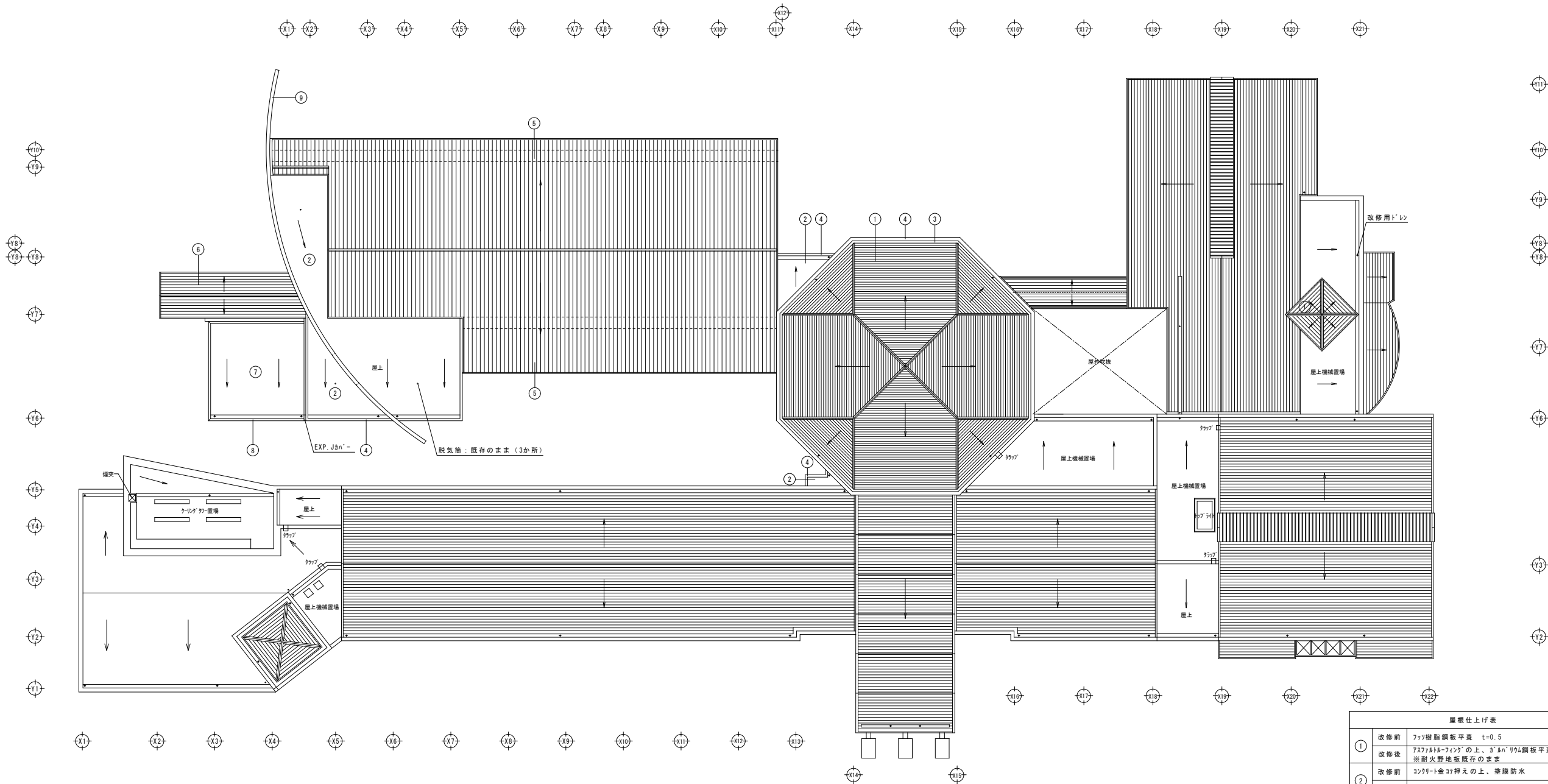
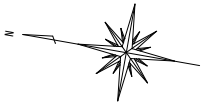


今回工事対象範囲を示す

特 記				作 図	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL:0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 総合福祉センター外壁等改修工事 配置図・附近見取図	縮 尺 A1版:1/500 A3版:1/1000	図面番号 A05
-----	--	--	--	-----	-----	-----	---	---	--------------------------------	-------------

[illegible]

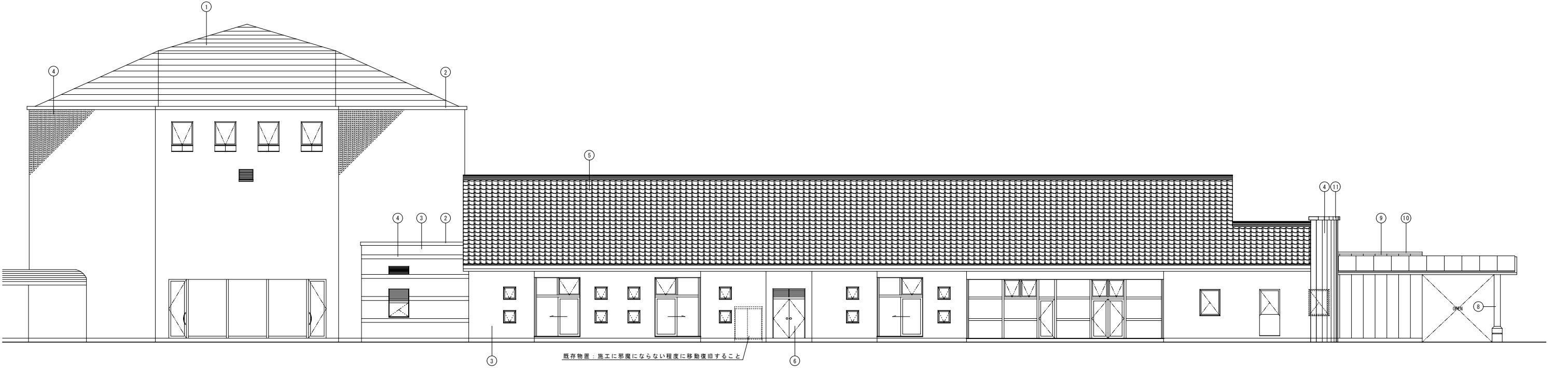
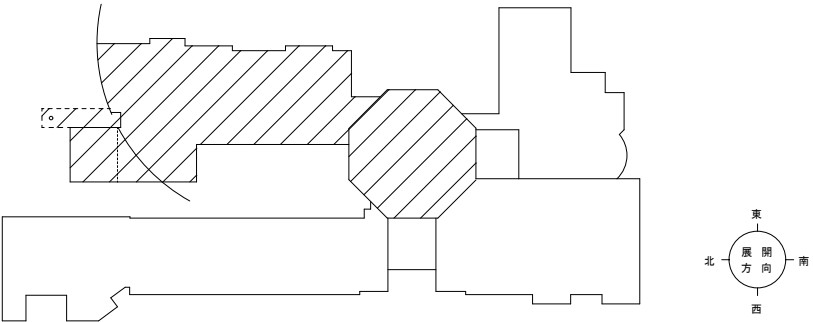




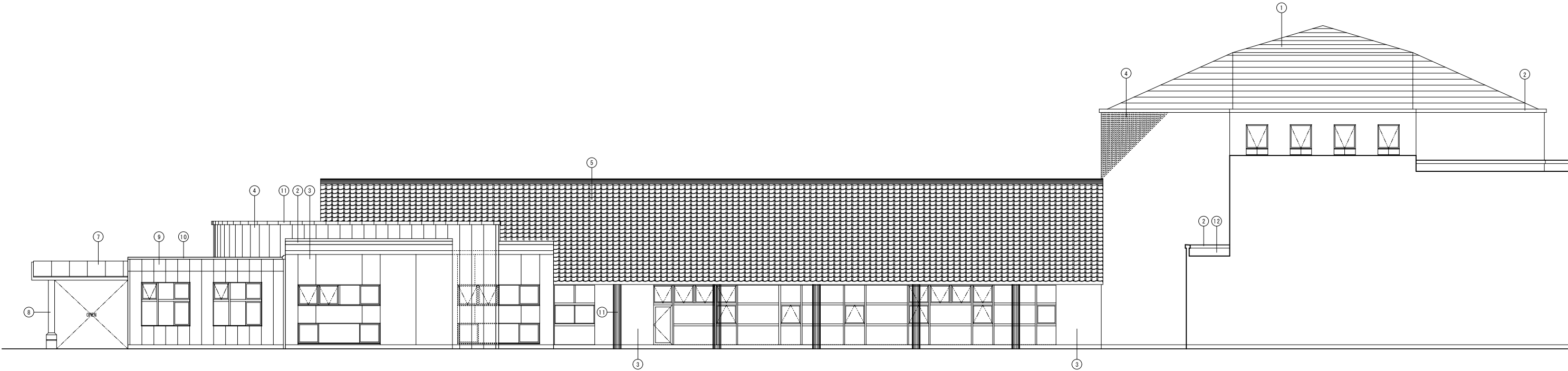
屋根伏図 S=1:200

屋根仕上げ表		
①	改修前	フッ素樹脂鋼板平葺 t=0.5
①	改修後	アスファルト・フィングの上、ガルバリウム鋼板平葺 t=0.5 ※耐火野地板既存のまま
	改修後	コンクリート金コシ押えの上、塗膜防水
②	改修前	高圧洗浄後、塗膜防水X-2
	改修後	高圧洗浄後、塗膜防水X-2
③	改修前	谷樋：フッ素樹脂鋼板 t=0.5
	改修後	谷樋：既存谷樋の上、耐酸被覆鋼板 t=0.4
④	改修前	コンクリート打放しの上、トップコート
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、塗膜防水X-2
⑤	改修前	陶器瓦葺
	改修後	既存のまま
⑥	改修前	アスファルト・フィング付塗装
	改修後	下地調整の上、DP塗り
⑦	改修前	ゴム系シート防水（立上り撤去）
	改修後	平場：高圧洗浄後、塩ビシート防水（S-W2） 立上り：下地調整の上、塩ビシート防水（S-F2）
⑧	改修前	笠木：アスミ製
	改修後	撤去後、新規防水層施工の上再取付
⑨	改修前	コンクリート打放しの上、トップコート
	改修後	高圧洗浄後、防水型外装薄塗材E

外 部 仕 上 げ 表											
①	改修前	フッ樹脂銅板平葺 t=0.5	⑥	改修前	銅製建具	⑪	改修前	コンクリート打放しの上、トッポコート	⑫	改修前	コンクリート打放しの上、トッポコート
	改修後	フッ樹脂銅板平葺の上、9°斜め銅板平葺 t=0.5 ※耐火野地板既存のまま		改修後	下地調整の上、DP塗り		改修後	高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと		改修後	高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと
②	改修前	コンクリート金ツリ押えの上、トッポコート	⑦	改修前	7&SIN®珪藻土塗装	⑬	改修前	コンクリート金ツリ押えの上、塗膜防水	⑭	改修前	コンクリート金ツリ押えの上、塗膜防水
	改修後	高圧洗浄後下地調整の上、塗膜防水 X-2		改修後	下地調整の上、DP塗り		改修後	平場：塗膜防水X-1、立上り：塗膜防水X-2		改修後	平場：塗膜防水X-1、立上り：塗膜防水X-2
③	改修前	コンクリート打放しの上、外装薄塗材E	⑧	改修前	鉄骨柱・梁：φ318.5(FG塗り)	⑮	改修前		⑯	改修前	
	改修後	高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと		改修後	下地調整の上、DP塗り		改修後			改修後	
④	改修前	炬燵貫割航が100角張り	⑨	改修前	ALC® 珪藻土の上、外装薄塗材E	⑰	改修前		⑱	改修前	
	改修後	既存のまま		改修後	高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと		改修後			改修後	
⑤	改修前	陶器瓦葺	⑩	改修前	笠木：7&SIN®	⑲	改修前		⑳	改修前	
	改修後	既存のまま		改修後	撤去後再取付		改修後			改修後	

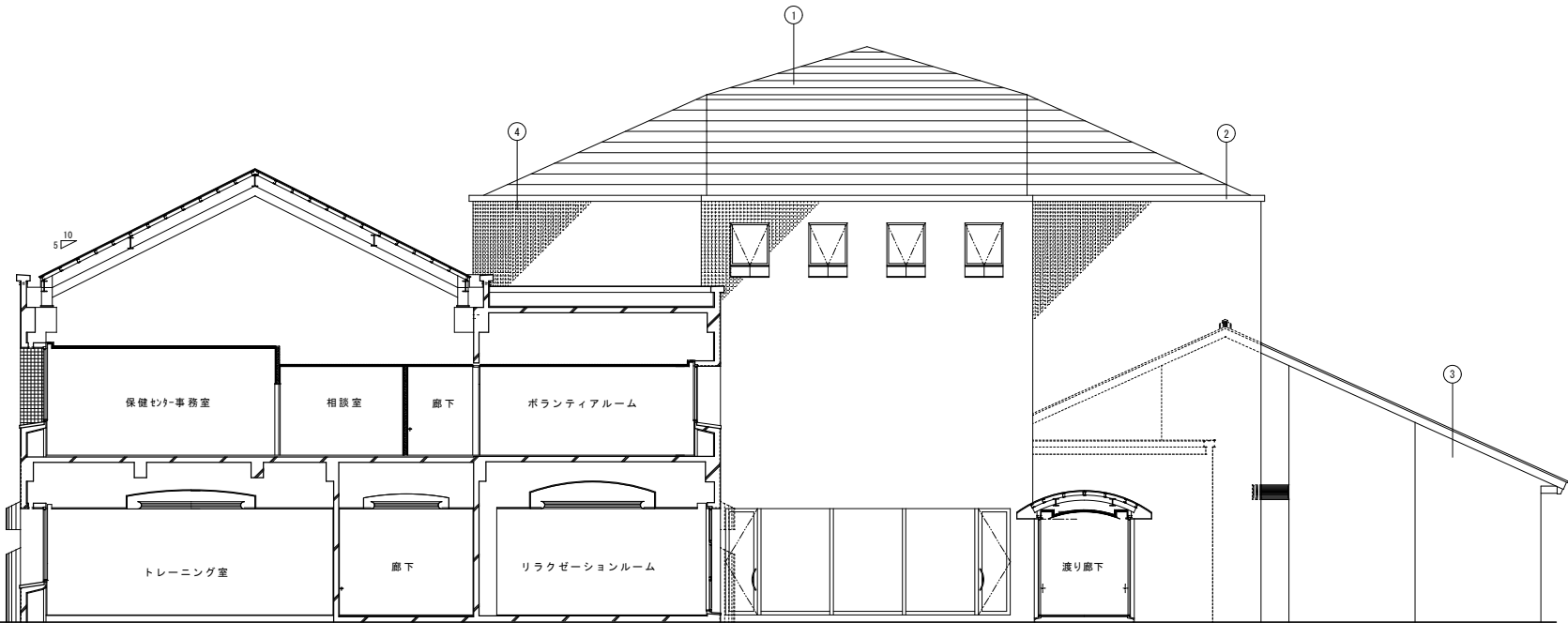
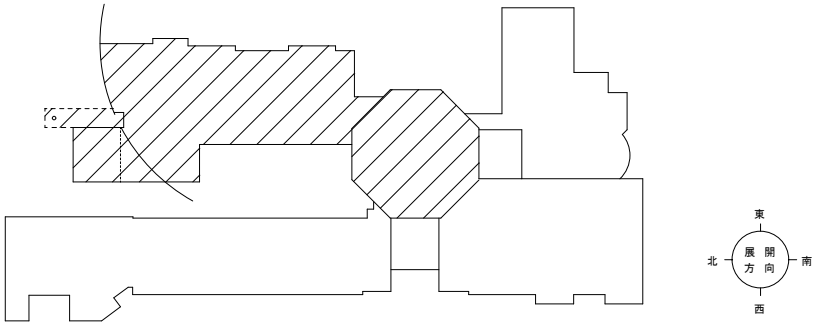


東立面図

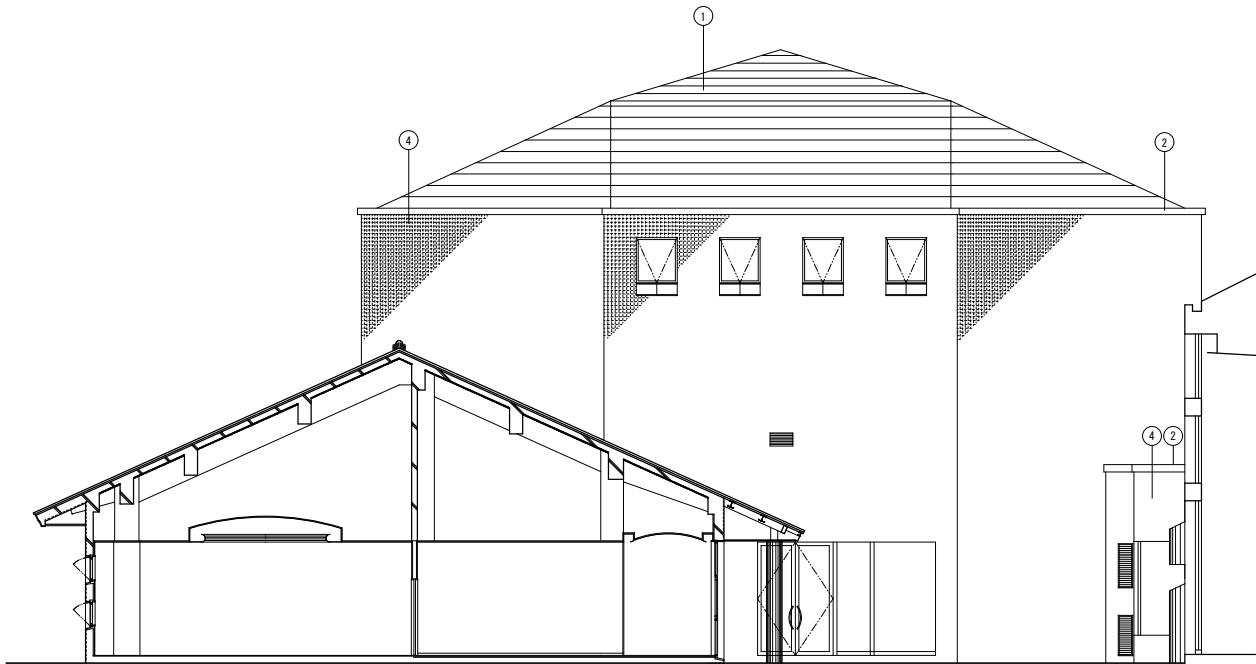


西立面図

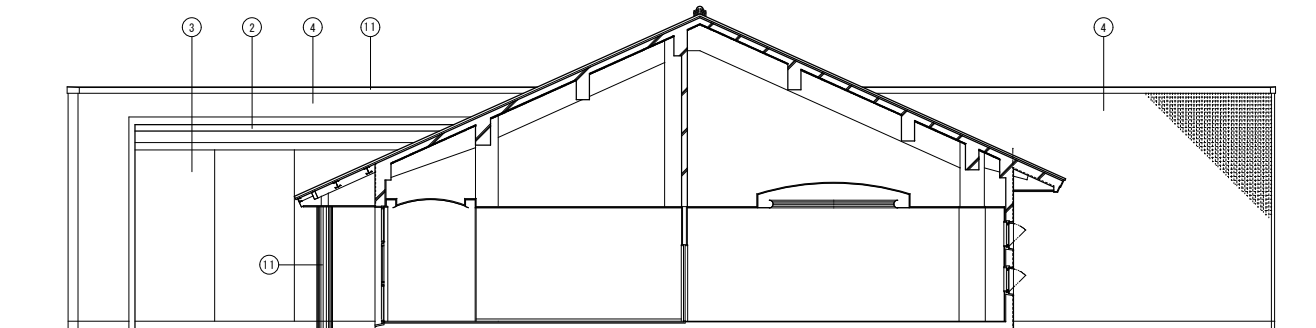
外 部 仕 上 げ 表					
①	改修前 フツ樹脂銅板平葺 t=0.5 改修後 フツ樹脂フツ葺の上、タタキ樹脂銅板平葺 t=0.5 ※耐火野地板既存のまま	⑥	改修前 銅製建具 改修後 下地調整の上、DP塗り	⑪	改修前 コクリト打放しの上、フツコート 改修後 高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと
②	改修前 コクリト金3葺押えの上、フツコート 改修後 高圧洗浄後下地調整の上、塗膜防水 X-2	⑦	改修前 タタキ板焼付塗装 改修後 下地調整の上、DP塗り	⑫	改修前 コクリト金3葺押えの上、塗膜防水 改修後 平場：塗膜防水X-1、立上り：塗膜防水X-2
③	改修前 コクリト打放しの上、外装薄塗材E 改修後 高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと	⑧	改修前 鉄骨柱・梁：φ318.5(FC塗り) 改修後 下地調整の上、DP塗り	⑬	改修前 改修後
④	改修前 炬燵貫割風タタキ100角張り 改修後 既存のまま	⑨	改修前 ALC板の上、外装薄塗材E 改修後 高圧洗浄後、防水形外装薄塗材E ※劣化の著しい部位は下地調整を行うこと	⑭	改修前 改修後
⑤	改修前 陶器瓦葺 改修後 既存のまま	⑩	改修前 笠木：タタキ 改修後 撤去後再取付	⑮	改修前 改修後



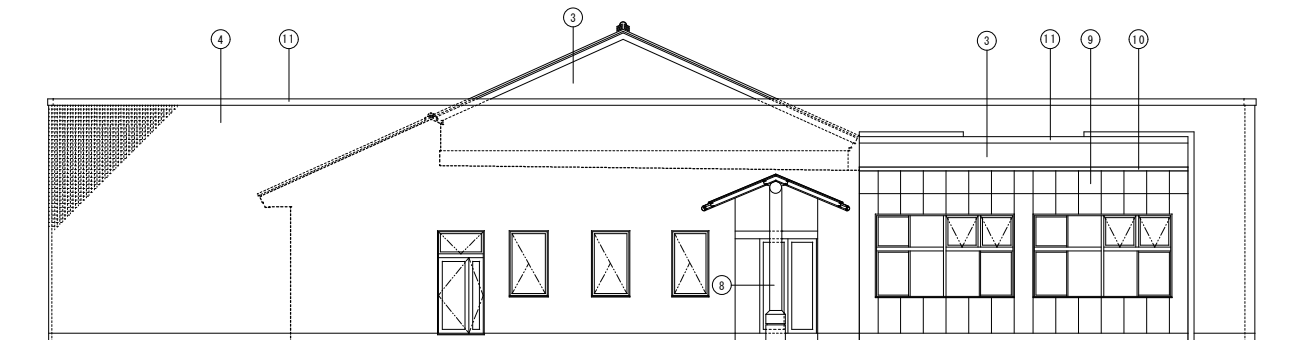
センターホール南立面図



センターホール北立面図

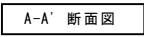


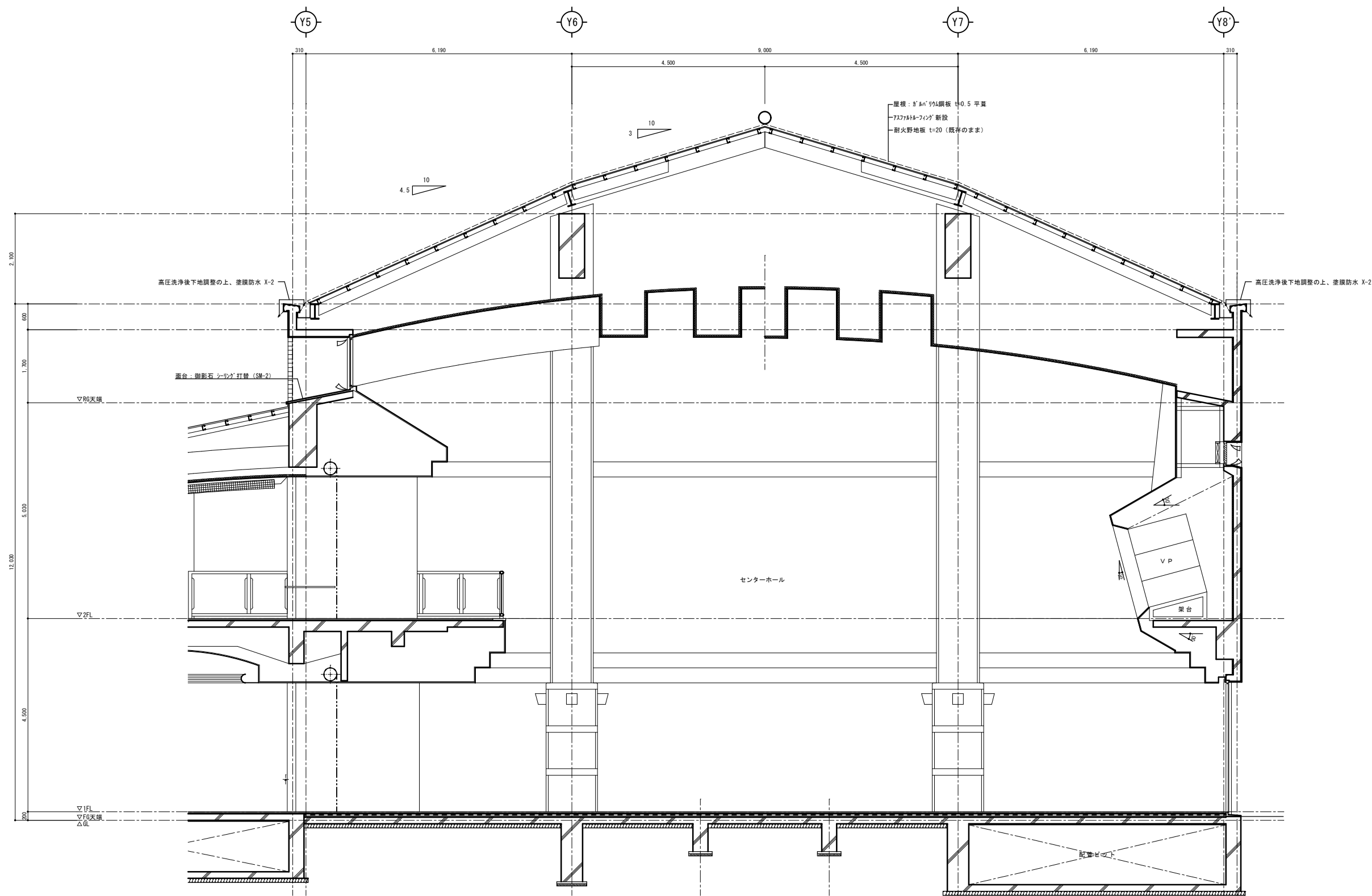
ふれあい室南立面図



北立面图

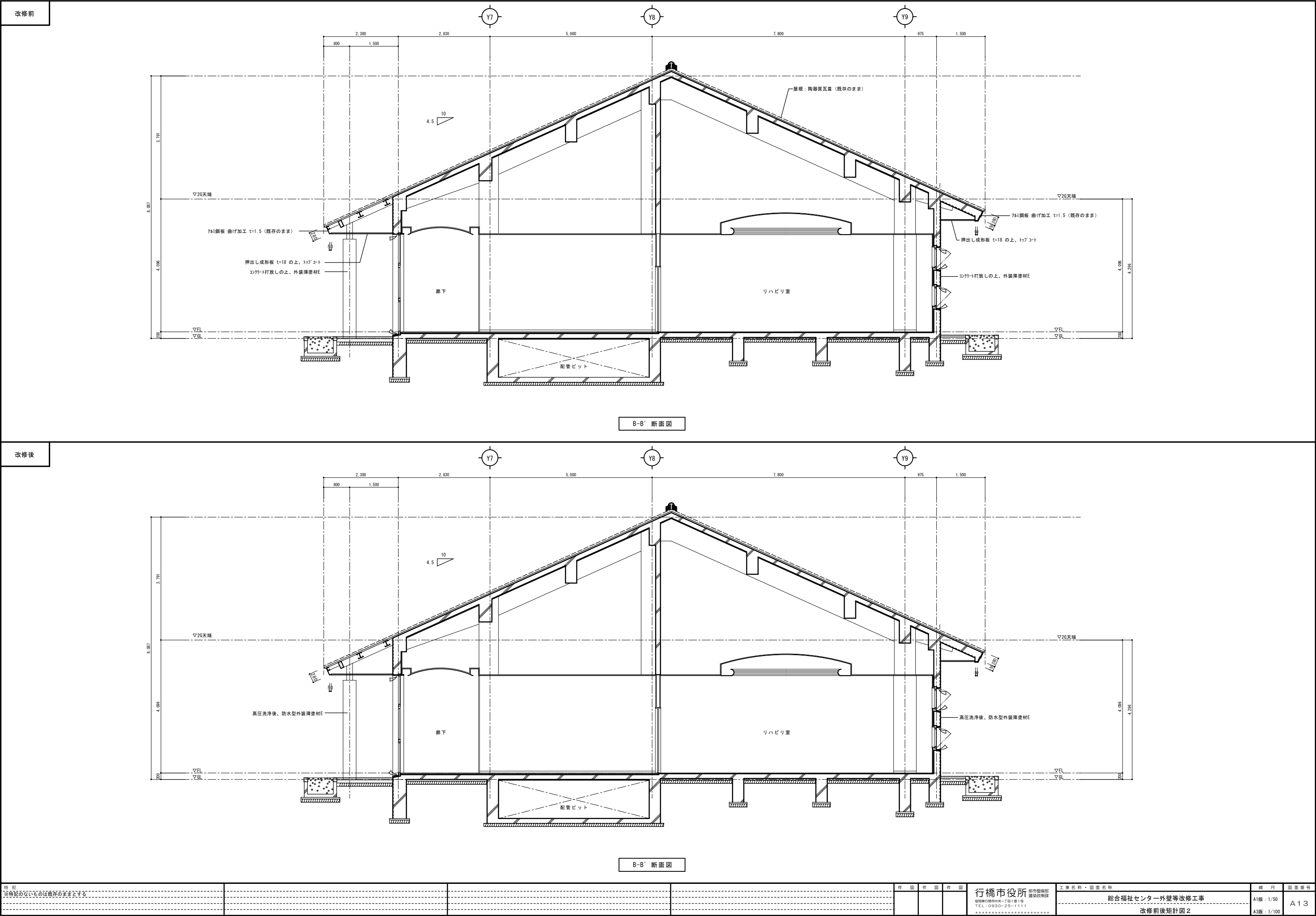
特 記				作 図	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建設政策課 福寿園行橋市中央一丁目1番1号 TEL:0930-25-1111 *****	工事名称・図面名称 総合福祉センター外壁等改修工事 立面図 2	縮 尺 A1版: 1/200 A3版: 1/400	図面番号 A10
-----	--	--	--	-----	-----	-----	---	---	---------------------------------	--------------------

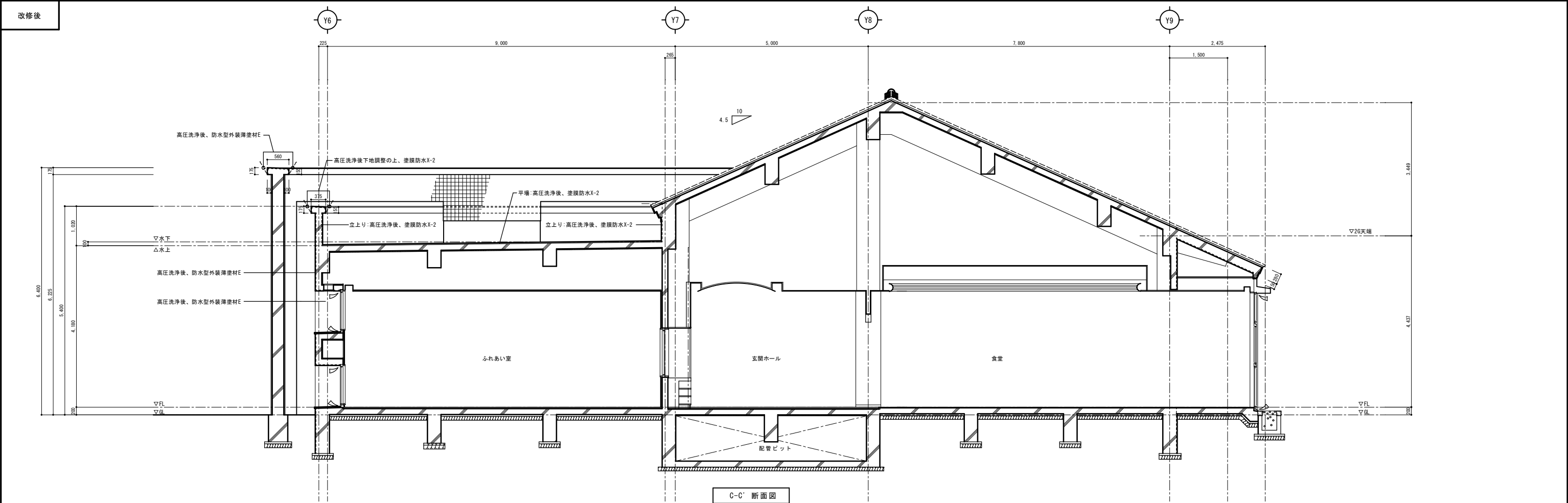
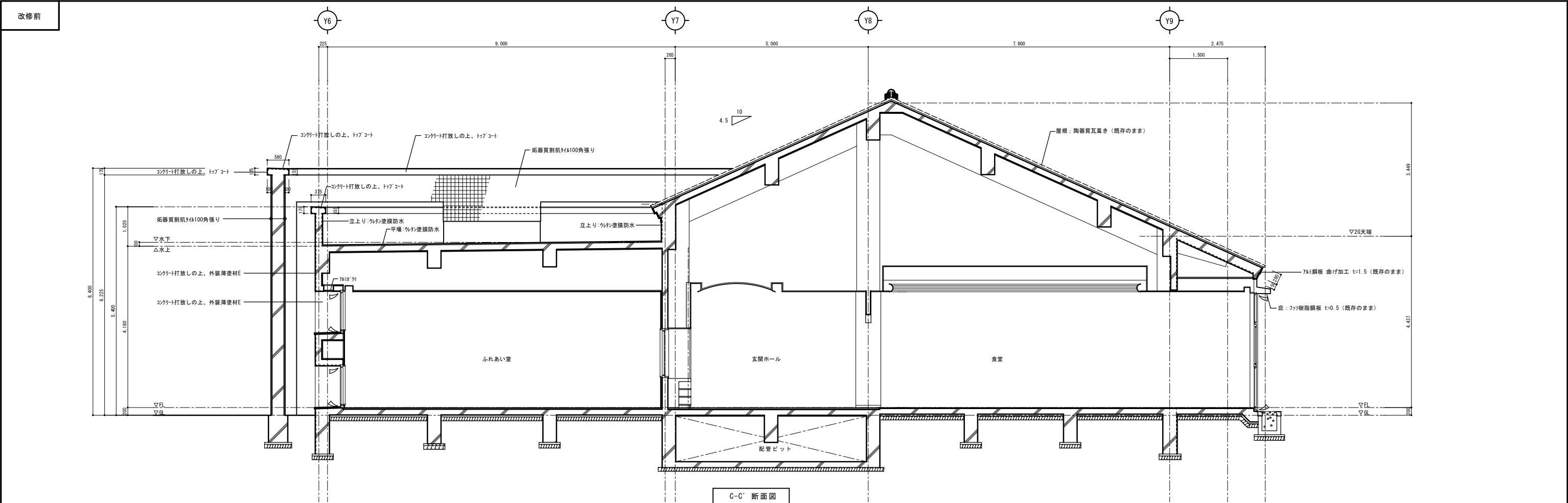
[illegible]



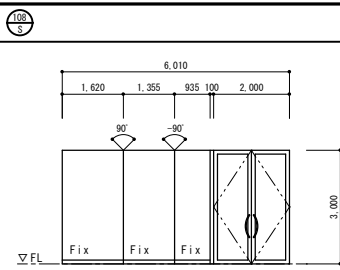
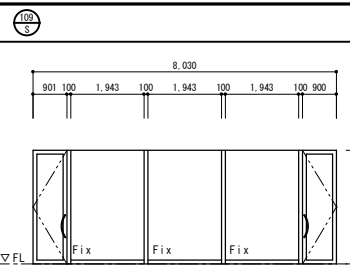
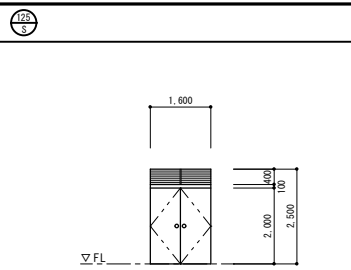
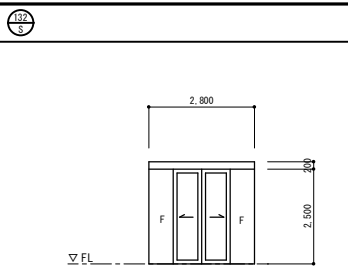
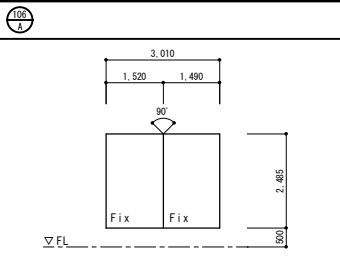
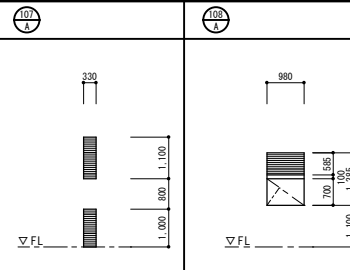
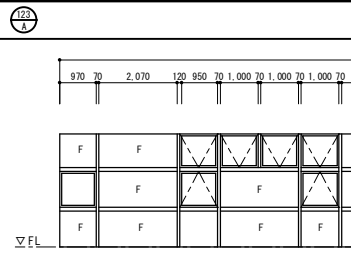
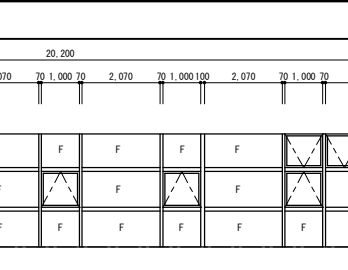
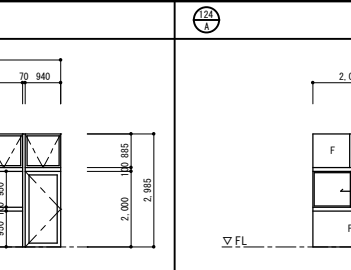
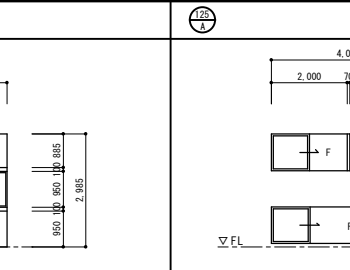
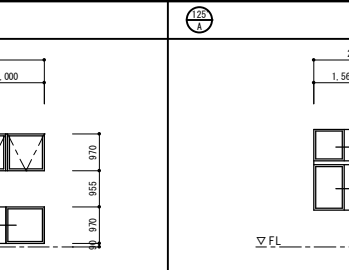
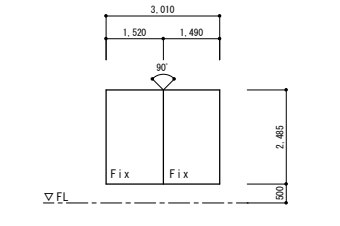
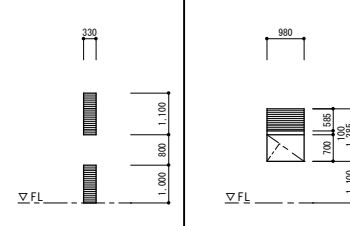
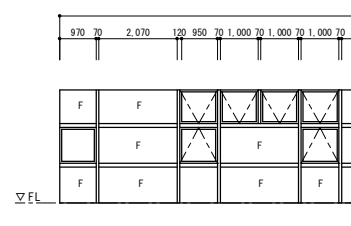
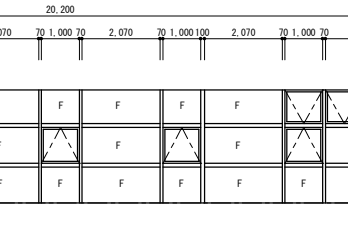
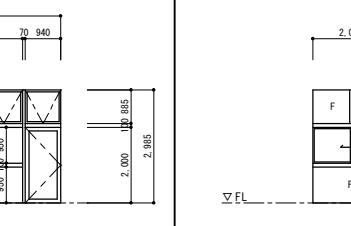
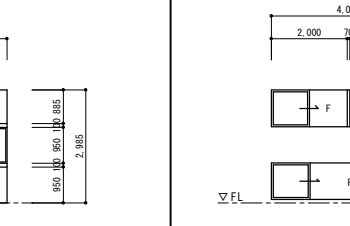
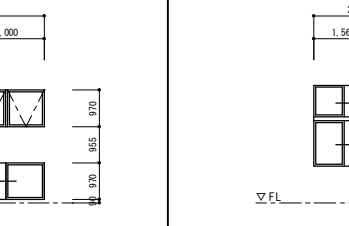
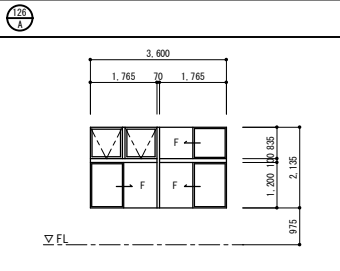
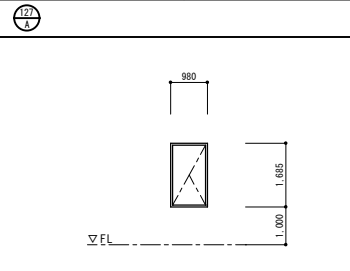
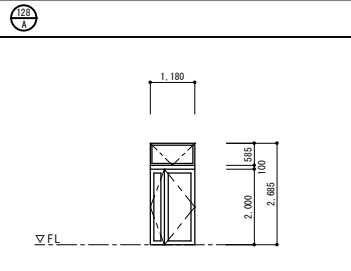
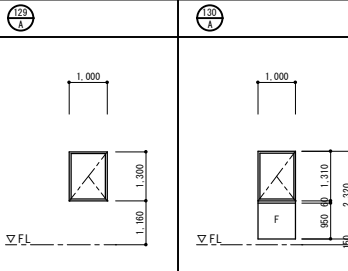
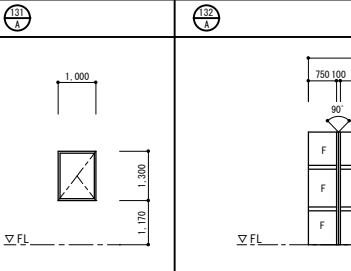
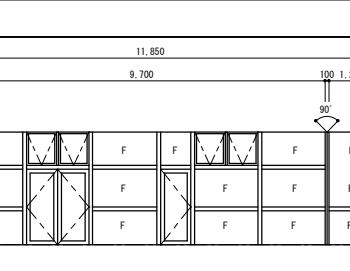
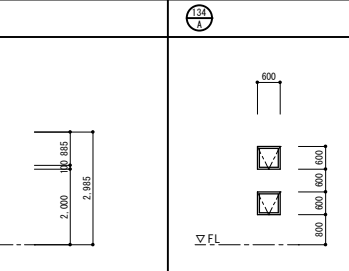
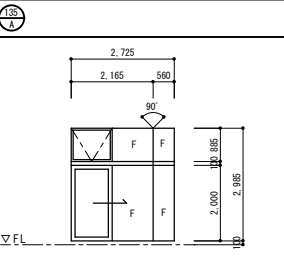
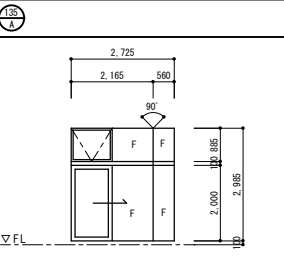
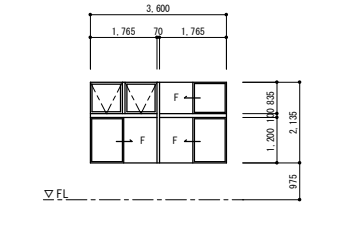
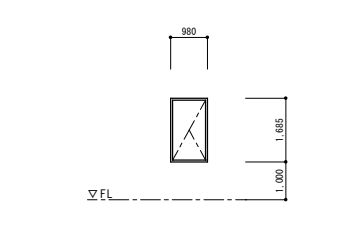
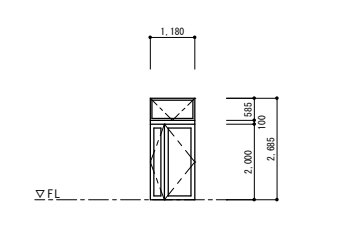
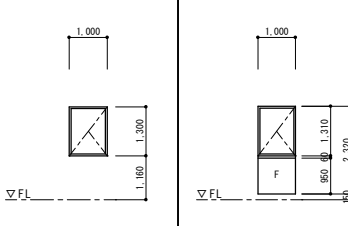
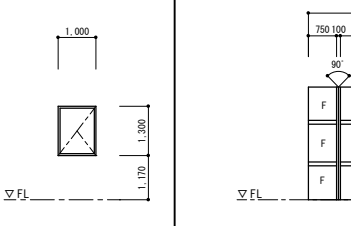
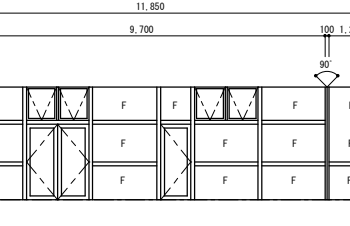
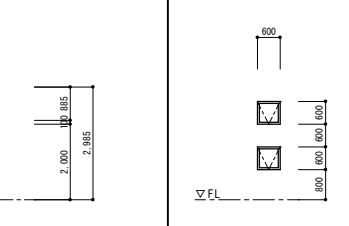
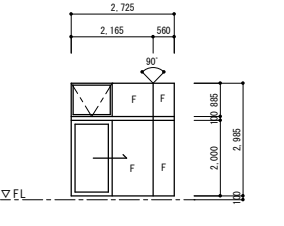
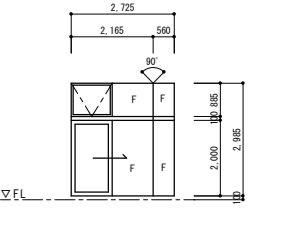
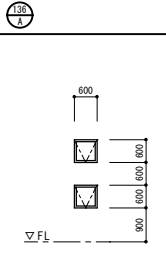
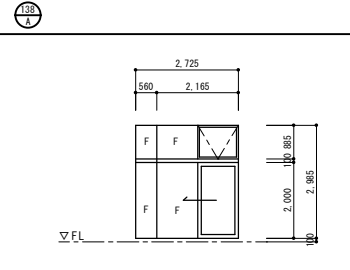
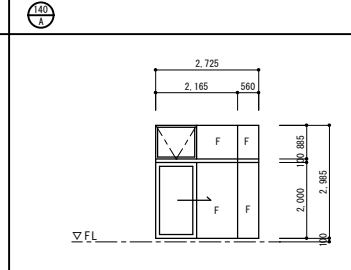
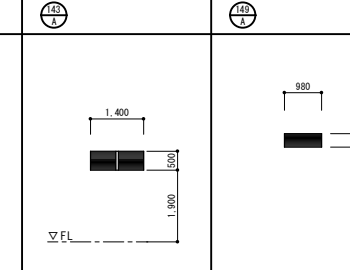
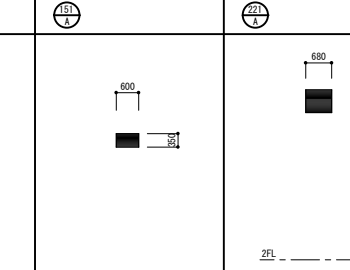
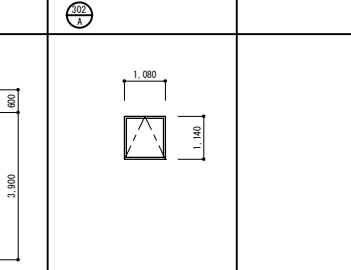
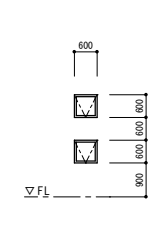
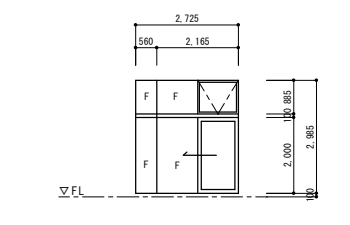
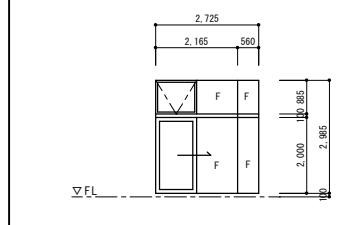
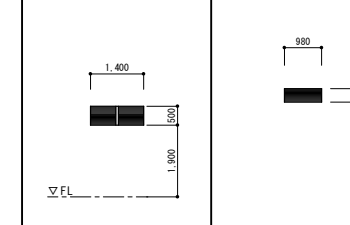
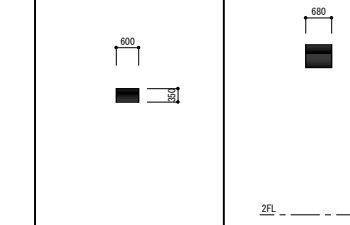
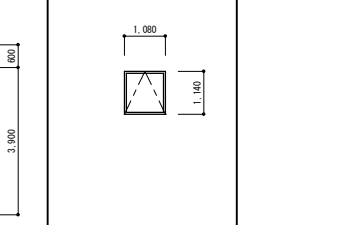
A-A' 断面図

特記 ※特記のないものは既存のままとする				行橋市役所 総務課 〒764-0292 行橋市中央一丁目1番1号 TEL: 0930-25-1111	工事名称・図面名称 総合福祉センター外壁等改修工事 改修後矩計図 1	縮尺 A1版: 1/50 A3版: 1/100 図面番号 A12
-------------------------	--	--	--	---	--	--





[illegible]

符 号												
形 式	FIXｶﾞｽ戸・両開きｶﾞｽ戸	FIXｶﾞｽ戸・両開きｶﾞｽ戸	両開きﾌﾗｯｼｭ戸	引分けｶﾞｽ戸								
場所・数量	ｷﾝﾀｰﾎｰﾙ	ｷﾝﾀｰﾎｰﾙ	ろ通室	風除室								
見込・仕上	見込120・ｽﾌﾟｰﾙ製(下部ｽﾌﾟﾚｯｽ)・焼付塗装	見込120・ｽﾌﾟｰﾙ製(下部ｽﾌﾟﾚｯｽ)・焼付塗装	見込260・ｽﾌﾟｰﾙ製・EP塗リ	見込125・ｽﾌﾟｰﾙ製・焼付塗装								
硝 子	TP (FL) 10	TP (FL) 10		FL-8								
金 物	ﾌｵﾌﾞｰﾍﾝｼﾞﾝ・本締り錠・取手	ﾋﾞﾙﾄﾞﾍﾝｼﾞﾝ・本締り錠・取手	標準金物一式	標準金物一式 引分け自動ﾄﾞｱｴﾝｼﾞﾝ								
備 考												
符 号												
案 図												
形 式	FIXｶﾞｽ戸	固定ガラリ	すべり出しｶﾞｽ戸	FIXｶﾞｽ戸 突出しｶﾞｽ戸 片開きｶﾞｽ戸	FIXｶﾞｽ戸 引違ｶﾞｽ戸	片引きｶﾞｽ戸	片引きｶﾞｽ戸 突出しｶﾞｽ戸					
場所・数量	寄込 (EV機 械室)	EV機 械室	厨 房 (ｷﾝﾀｰﾎｰﾙ)	廊 下	相 談 室	ふれあい室	ふれあい室					
見込・仕上	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製					
硝 子	FL-6		FL-5	FL-6 FL-5	(腰)FL-6 FL5	FL-5	FL-5					
金 物	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 3方額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 3方額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付					
備 考												
符 号												
案 図												
形 式	片引きｶﾞｽ戸 突出しｶﾞｽ戸	親子開き框戸	親子開き框戸	すべり出しｶﾞｽ戸	すべり出しｶﾞｽ戸FIXｶﾞｽ戸	すべり出しｶﾞｽ戸	片開きｶﾞｽ戸 FIXｶﾞｽ戸	突出しｶﾞｽ戸	片引きｶﾞｽ戸 FIXｶﾞｽ戸			
場所・数量	ふれあい室	(厨房)廊下	(厨房)廊下	(厨房)便所	(厨房)休憩室	厨房	食堂	和室・ﾘﾝﾄﾞﾘ室	特殊浴場			
見込・仕上	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製			
硝 子	FL-5	FL-5	FL-5	FL-5	FL-5	FL-5	FL-5	FL-5	RS00-6.0 RS00-6.0			
金 物	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 3方額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 3方額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付			
備 考												
符 号												
案 図												
形 式	突出しｶﾞｽ戸	片引きｶﾞｽ戸 FIXｶﾞｽ戸	片引きｶﾞｽ戸 FIXｶﾞｽ戸	固定ガラリ	固定ガラリ	固定ガラリ	固定ガラリ	突出しｶﾞｽ戸 (排煙窓)				
場所・数量	特殊浴場	ﾘﾝﾄﾞﾘ室	ﾘﾝﾄﾞﾘ室	倉庫	ｷﾝﾀｰﾎｰﾙ厨房	ｷﾝﾀｰﾎｰﾙ外壁	ﾏﾙﾍﾞﾝｼﾞｮﾝ	ｷﾝﾀｰﾎｰﾙﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ				
見込・仕上	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製	ﾌﾏﾐ製				
硝 子	RS00-6.0	FL-5	FL-5					B-FL-5				
金 物	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付	標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付					標準金物一式 ｽﾍﾞﾘｰｰ 全周額縁ﾌﾝｸﾞﾙ付				
備 考												
特 記									作 図	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL:093